

関連行事

○講演会「チャハヤ号航海記」

日時：7月20日（日）13時30分～15時30分

講師：宮内泰介さん

会場：北海道開拓記念館 講堂

1988年7月27日、インドネシア・スラウェシ島の港を一隻の木造船が船出した。乗っていたのは、13名の船員と、鶴見良行名誉隊長に率いられた16名の隊員。さまざまな専門・世代の人間が同乗した35日間の船旅を、映像とともに振り返ります。

※道民カレッジ連携講座／ほっかいどう学 2単位



台所のナマコ（1987年12月） 鶴見良行氏撮影

花崎皋平（はなざき こうへい）

1931年東京生まれ。北海道大学助教授（哲学）をへて、1971年から著述業。著書に『静かな大地——松浦武一郎とアイヌ民族』（岩波書店）、『どこへ行く？』（自由学校「遊」）など。北海道に根ざし、さまざまな市民運動にも関わってきた。『コス島奇譚』の解説などに、鶴見さんの仕事への深い理解と共感を込めた文章を寄せている。

宮内泰介（みやうち たいすけ）

1961年愛媛県生まれ。東京で大学院に籍を置きながら市民運動に携わっていた頃、鶴見さんに誘われ、エビやヤシをテーマにした共同研究に参加。現在、北海道大学教員。さっぽろ自由学校「遊」共同代表。ソロモン諸島や日本国内のムラやマチを歩き、人びとの生活と自然環境、地域づくりなどを考えている。

※定員100名（6月21日から電話011-898-0500で受付）



エビ漁の取材に夢中の鶴見良行氏（1988年のチャハヤ号航海） 新妻昭夫氏撮影

○フォーラム「鶴見良行の眼」

日時：8月3日（日）13時～16時

講師：花崎皋平さん、新妻昭夫さん

会場：北海道開拓記念館 講堂

〈歩く学問〉の人、鶴見良行は何を見たのか。そこから何を学ぶのか。20年前鶴見さんたちとアラフラ海の船旅をした新妻さん、ナマコを追って北海道にも及んだ鶴見さんの旅の対話者だった花崎さんが語ります。

※定員100名（7月4日から電話011-898-0500で受付）

※道民カレッジ連携講座／ほっかいどう学 3単位

新妻昭夫（にいづま あきお）

1949年札幌市生まれ。北大の学生時代、クマ研創設に参画。その後ゼニガタアザラシの生態調査と保護活動に取り組む。京大大学院を経て、1982年に東京に出、フリーライターになる。鶴見さんに誘惑されてチャハヤ号の航海に参加。著書に『種の起源を求めて』（筑摩書房）、『ダーウィンのミミズの研究』（福音館）など。恵泉女学園大学教授。